

区設掲示板の建て替え

予算額 1億402万6千円

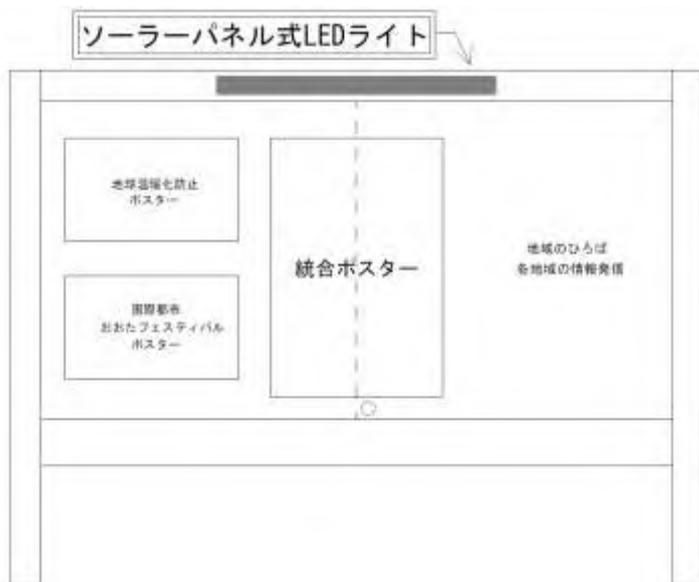
副題：23区初、カバー及びソーラーパネル式LEDライト付き区設掲示板へ

ポイント

2020年東京オリンピック・パラリンピックが開幕する2020年までの4年間で、896基すべての区設掲示板を、カバー及びソーラーパネル式LEDライト付きへ建て替え、国際都市・防災のまちづくりを推進します。停電時も、避難所への案内や区の情報を発信できるソーラーパネル式LEDライト付き掲示板は23区初。

事業概要

224基の区設掲示板をカバー及びソーラーパネル式LEDライト付きの掲示板へ建て替えます。住んでいる人が地域の自慢となり、訪れた人に区の魅力を発信するための大田区の工業技術を活かした掲示板を作成し、設置します。



【効果】

- ・地域色の発信
- ・老朽化の解消
- ・安全性・耐久性の向上
- ・雨風から掲示物の破損・剥離の保護
- ・24時間情報発信（夜間観覧可能）
- ・停電時も地域を照らす安心の灯り
- ・海拔、避難所までの案内を表示
- ・災害時、夜でも避難所への誘導板としての役割
- ・英語表記で国際都市の推進

| | | |
|------|-------|--------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 地域力推進部 地域力推進課 |
| | 課長氏名 | 柏原 順史 電話 5744-1221 |
| | 担当者氏名 | 中川 久美 電話 5744-1224 |

防災力強化事業

新規

予算額 7億348万4千円

副題：大田区の防災力を強化するため、重要対策を着実に進めます

ポイント

大田区総合防災力強化検討委員会の提言や都の新たな被害想定に基づき、これまで「区民の命を守る」ための対策を重点的に実施してきました。平成28年度からは防災力強化の中期対応期とし、これまでの「区民の命を守る」ための対策に係る事業を推進しつつ、「最低限の生活を守る」ための重要対策への取り組みを進め、防災対策を展開していきます。

事業概要

1 備蓄物品の拡充と入替 2億1,014万2千円

(1) 毛布および非常食糧の購入

東京都の新たな被害想定に基づいた避難者想定数に対応するため、平成25年度から毛布および非常食糧の備蓄を計画的に進めています。いつ生じるかわからない災害に対し早急に備蓄をする必要があるため、平成29年度以降の計画を前倒しし、大田区の避難者想定数分の毛布および非常食糧を平成28年度にすべて購入します。

①毛布 39,690枚、②食糧 69,270食



(学校防災備蓄倉庫)

(2) 要配慮者用物品の購入

学校避難所での備蓄物品について、女性の視点から見て必要な衛生用品の新たな配備や、高齢者や乳児、障がい者等の要配慮者が安心して生活できる避難所として整備するために必要な物品の入替え・配備を行います。

【入替】①乳児用バスタオル 各避難所50枚、②乳児用肌着 各避難所50枚、
③乳児用哺乳瓶 各避難所50本 地区備蓄倉庫450本

【新規配備】④ウェットタオル 各避難所300個

【追加配備】⑤プライベートテント 各避難所2基

(3)災害用トイレの入替

各学校避難所に備蓄している組立式トイレ4台のうち、組立式和式トイレ1台を簡易洋式トイレ1台に入れ替えます。避難所既設の室内トイレに設置するもので、組立も容易であり、高齢者にとっても使いやすいトイレです。



(簡易洋式トイレ)

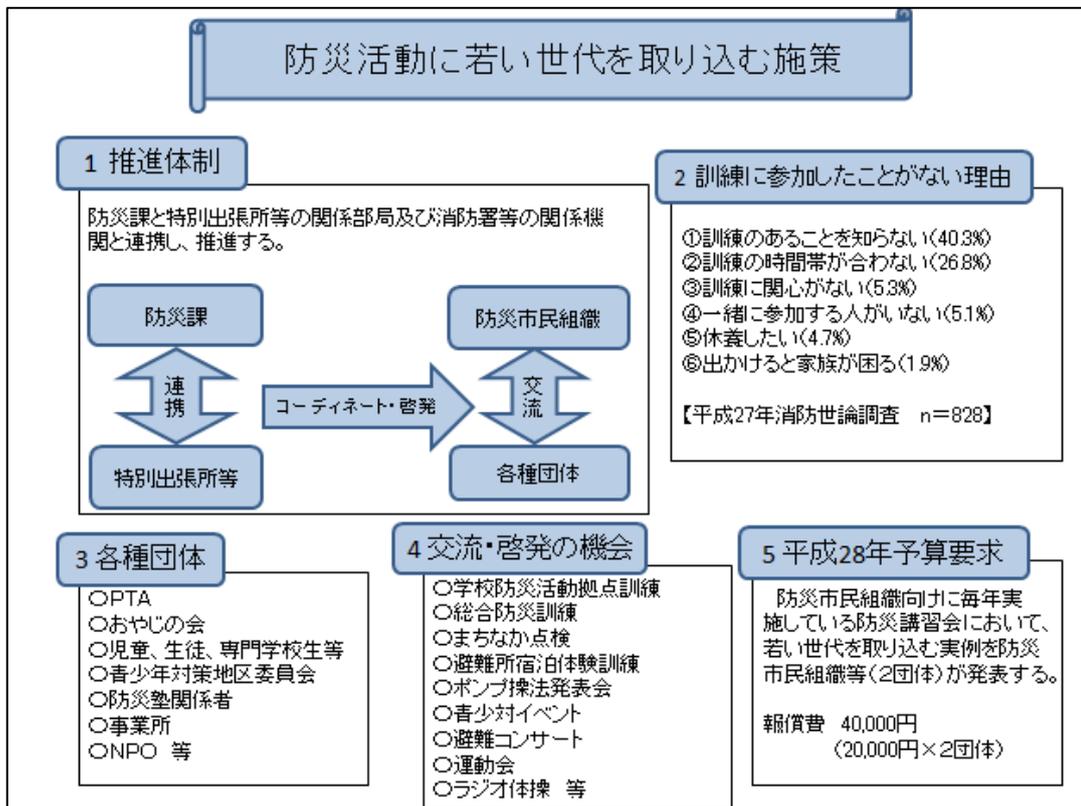
(4)その他物品の購入

- ①炊き出し用ガスバーナーセット 各避難所1台、②懐中電灯 各避難所20本

2 新たな人材確保の取り組み 52万円

(1)防災市民組織の活動事例の紹介

防災市民組織での活動人員の不足（特に若い世代を確保すること）が課題となっています。区では、学校や企業、PTAなどに組織の活動への協力・参加を促していますが、組織自らが人材確保のため積極的に活動することが重要です。「防災市民組織等感謝状贈呈式及び防災講習会」の機会を活用して「担い手の新規確保」のために特に優れた活動を実施した組織の活動事例の紹介をし、広く取り組みが行われるように促します。



(2) 紙工作品（ペーパークラフト）の導入

親子での防災訓練への参加が増え、次世代の地域防災活動を担う人材を確保・育成できるように、大田区の備蓄促進キャラクター（備蓄カンガルー）をモチーフにした紙工作品（ペーパークラフト）を導入し、訓練に参加しやすい環境づくりを図ります。



（ペーパークラフト）

3 事業所に向けた防災対策の啓発 29万円

事業所向け防災啓発データを製作し、区ホームページにおいて防災啓発パンフレット（データ）を閲覧できるようにします。また、PR効果を高めるため、区ホームページで配信されていることの周知用チラシを作成し、各法人会等を通じて会員事業所への送付や区、各消防署窓口において配布します。

4 C級ポンプの機種変更 1,472万3千円

区では、市民消防隊に可搬消防ポンプ（C-1級）を貸与しています。C級ポンプの買い替え及び新規導入分において、起動しやすく高齢者や女性でも扱いやすい4ストロークの機種に切り替えます。



（C級ポンプ）

5 避難所におけるペットの同行避難対策 32万6千円

避難所でのペットの同行避難対策について、人への危害防止や適切な飼育管理が行えるように、ポールおよびリードを購入します。



6 災害復興体制の構築 929万6千円

区の防災計画は、災害復興体制の構築、復興組織の整備が課題となっています。この課題を解決するため、災害応急対策業務及び復興業務に加えて、通常業務の復旧を一本化した総合的な業務整理を行い、各部局の役割が明確化された行動計画を作成していきます。

(1) 事業スケジュール

平成 28 年度：関連資料の集約・検証

- ①資料の収集→分類整理→データ化
- ②既存計画の課題抽出（資源管理、対策実行）
- ③災害対応組織の運営や協定等の改良検討

平成 29 年度：行動計画整備

- ①復興対策を踏まえた災害時行動計画の整備
- ②組織別マニュアル確認（チェックポイント明示）

7 地域防災施設の整備**4億6,818万7千円**

京浜急行線の高架化（平和島駅から六郷土手駅及び京急蒲田駅から糀谷駅間）に伴い生まれた空間に、防災・地域活動拠点として区及び地域が共同で活用する地域防災施設を整備します。

本施設は、沿線地域の地域防災力向上を目的とし、上記区間の各駅間に1カ所以上、計9カ所に整備します。

平成28年度は、建設工事費、初度調弁費等を計上しています。

| | | | | |
|------|--------------|------------------|--------------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 地域力推進部 | 防災課 | |
| | 課長氏名 | (上記1、2(2)、5、6、7) | 落合 邦男 | 電話 5744-1704 |
| | | (上記2(1)、3、4) | 加藤 孝典 | 電話 5744-1712 |
| | 担当者氏名 | (上記1) | 波田野 敏郎 | 電話 5744-1235 |
| | (上記2(1)、3、4) | 小山 和巳 | 電話 5744-1611 | |
| | (上記2(2)、5、7) | 中村 浩次 | 電話 5744-1713 | |
| | (上記6) | 鈴木 厚 | 電話 5744-1236 | |

防犯力強化事業 **新規**

予算額 8,327万9千円

副題：地域と連携して防犯力を強化し安全・安心なまちづくりを目指します

ポイント

子どもを犯罪から守るために、通学路を含めた公共の場所の安全を確保するための対策を強化します。また、犯罪抑止のために、自治会や商店街を主体とする防犯カメラの設置への支援を拡大し、区民の見守り活動に対する支援や高齢者への犯罪被害防止啓発を継続して行っていきます。

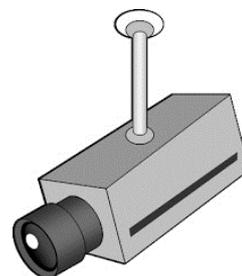
事業概要

1 街頭防犯カメラの設置支援

7,873万7千円

地域団体による防犯のための見守り活動を支援し、安全で安心なまちづくりの推進のため、当該地域団体が設置する街頭防犯カメラの設置費用の3分の1を助成します。

東京都と連携のうえ、平成28年度は事業開始以来最大の14団体に約200台の設置を支援し、自転車盗やひったくり、車上狙い等の抑止効果の向上につなげます。



2 通学路における青色回転灯車パトロールの強化

454万2千円

現在行っている業者委託による青色回転灯車パトロールに加え、青色回転灯車両を1台新規に確保し、非常勤職員による通学路パトロールを定期的を実施します。これにより、パトロール回数がこれまでの年間256回から529回（3時間/1回）と大幅に増え、緊急事案への柔軟な対応も可能となります。



| | | | |
|-----|-------|--------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 地域力推進部 | 防災課 |
| | 課長氏名 | 久保田 孝幸 | 電話 5744-1216 |
| | 担当者氏名 | 元木 崇博 | 電話 5744-1634 |

羽田地区公共施設の整備

予算額 1 億 2,660 万 8 千円

副題：少子・超高齢社会に果敢に立ち向かう新たな取組み

ポイント

少子高齢化社会による老年人口の増加と生産年齢人口の減少から、厳しい財政状況となることを見込まれる中で、行政財産の最大有効活用や新たな行政ニーズに沿った機能配置が求められています。このため、羽田地区の複数の公共施設の複合化・多目的化等を行い、地域に開かれた新たな拠点を整備します。

事業概要

羽田地区にある 2 つの建物、6 つの機能について、20 年・30 年先の社会情勢等を見据え、変化・多様化していく区民ニーズへの確に対応できる施設とするために建物を改築し、新たな機能も含めた配置を行います。

- (1) 施設概要
- | | |
|-----------|------------|
| 一丁目プロジェクト | 羽田 1-18-14 |
| 四丁目プロジェクト | 羽田 4-11-3 |

(2) 計画概要

【一丁目プロジェクト】⇒地域拠点整備、高齢化対策、地域防災機能の強化

- ・特別出張所、観光情報コーナー
- ・高齢者の元気維持、総合相談等を一体的に行う高齢者区民利用施設
- ・多機能な区民活動支援施設（中高生の居場所機能含む）
- ・災害時の一時的避難スペース（多層化により生じたスペースの活用）

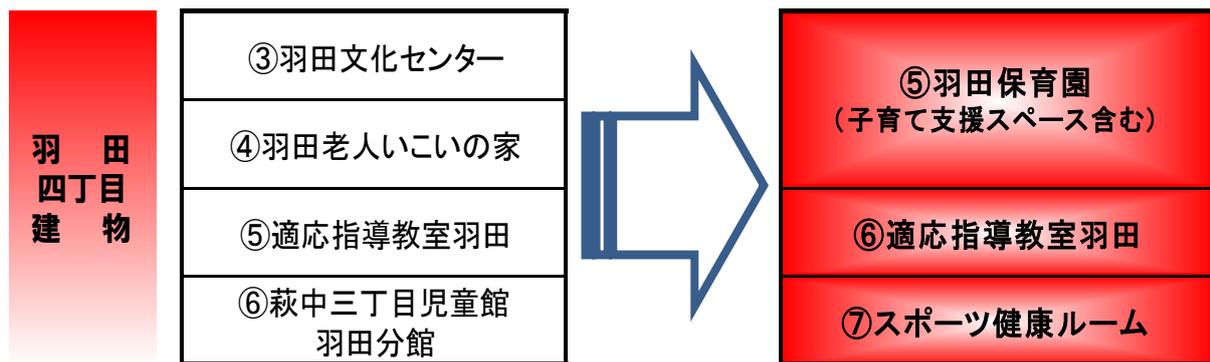
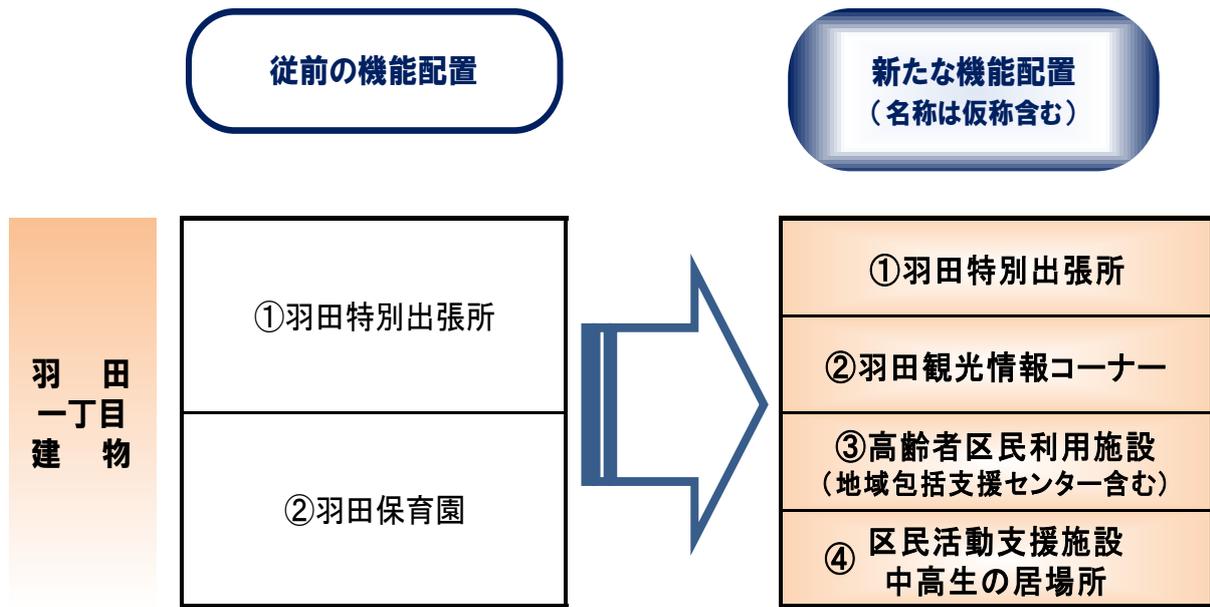
【四丁目プロジェクト】⇒少子化対策、学習支援、スポーツを通じた健康づくり

- ・保育園（子育て支援スペース含む）
- ・適応指導教室
- ・スポーツ健康ルーム

(3) スケジュール概要（予定）

- | | |
|-------------|-------|
| 平成 28 年度 | 実施設計 |
| 平成 29～30 年度 | 工事 |
| 平成 30 年度 | 竣工・開設 |

【機能の最適配置イメージ】



◆機能強化

従来の6機能を今後の社会情勢等を見据えて更新するとともに、新規機能を置き込み、7機能の配置を実現します。

◆ボリュームアップ

行政財産を最大有効活用し、従前比で1.5倍程度の総延床面積を確保します。

| | | | |
|-----|-------|--------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 地域力推進部 | 羽田特別出張所 |
| | 課長氏名 | 臼井 正一 | 電話 3742-1411 |
| | 担当者氏名 | 山口 智久 | 電話 3742-1411 |

24 時間 AED 設置補助

新規

予算額 699 万円

副題：24 時間だれでも使える AED を設置する際の初期費用を補助します

ポイント

区施設には 320 台の AED が設置されていますが、夜間休日は使用できないため、24 時間いつでも使える AED の設置が求められています。また、自らの施設に AED を設置しようとする民間団体より、費用補助を希望する声が寄せられています。

このような現状をふまえ、民間団体が、区内の自らの施設に『24 時間だれでも使える AED』を購入設置する際に、その初期費用を補助する制度を創設し、地域の安全・安心の向上を目指します。 ※AED とは自動体外式除細動器のこと

事業概要

1 補助の対象者

AED (付属品を含む。以下同じ) を購入し、区内の自らの施設に 24 時間だれでも使える状態で設置する民間団体の代表者
※ただし、補助要件を満たす必要があります。

2 補助対象となるもの

民間団体が、AED を購入し、区内の自らの施設に、24 時間だれでも使える状態で設置する際にかかる初期費用 (ただし、区の予算の範囲内)

3 補助率

AED 購入設置時にかかる初期費用の 3 分の 2
(ただし、46 万 6 千円を上限とし、千円未満は切捨て)



4 補助対象とならないもの

AED 購入設置後にかかる全ての費用
(修理代、AED 使用後の電極パッド代、バッテリー代、AED 収納ボックスの電池代、電気代、耐用期限後等の AED 廃棄費用など)

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康医療政策課 |
| | 課長氏名 | 大村 顕子 | 電話 5744-1261 |
| | 担当者氏名 | 塩沢 昇 | 電話 5744-1262 |

鉄道駅舎エレベーター等整備促進事業

予算額 5,760万円

副題：高齢者、障がい者を含めた誰もが暮らしやすい環境整備に向けて

ポイント

公共施設へのアクセスが課題となっている雪が谷大塚駅の西口側に2基目のエレベーターを設置します。これにより高齢者、障がい者、子育て世代を含めた、駅とその周辺を利用するすべての方々の利便性が向上します。

事業概要

雪が谷大塚駅では、現在東口のみエレベーターが設置されており、西口には階段しかない状況です。

また、駅西口には公共施設等（調布地域庁舎、税務署、郵便局、銀行など）が集まっており、エレベーターを利用する高齢者、障がい者及びベビーカーを使用する子育て世代は、一旦東口駅外に出て踏切を渡って西側へ移動しており、西口のバリアフリー化が十分でないことが課題でした。

そのため、西口にエレベーターを設置することで、踏切を横断せずに、駅から西口側へ向かうことが可能になります。

鉄道駅総合バリアフリー推進事業費補助金を活用して、鉄道事業者が整備するエレベーターに補助するものです。

雪が谷大塚駅の様子



| | | | |
|------|-------|----------------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | まちづくり推進部 | まちづくり管理課 |
| | 課長氏名 | 山田 誉 | 電話 5744-1691 |
| | 担当者氏名 | 大見 真吾 谷田川 泰 | 電話 5744-1303 |

不燃化まちづくりへの取組み

予算額 1 億 3,193 万 9 千円

副題：老朽木造住宅密集地域の建替え等に不燃化助成！

ポイント

老朽木造建築物が密集している地域では、災害時の火災等によって甚大な被害が想定されます。国の都市防災不燃化促進事業や都の不燃化特区制度を活用し、不燃化に向けた助成事業を実施することで、「燃えない・燃え広がらないまち」を目指します。

事業概要

1 都市防災不燃化促進事業

7,496 万 7 千円

区は、平成 23 年 10 月から大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画（約 197 ヘクタール）を施行しました。この地区計画で指定した地区防災道路沿道の建築物を、耐火または準耐火建築物に建替える際に費用等の一部を助成します。

また、羽田地区において、都市防災不燃化促進事業の導入に向けた不燃化促進調査を実施します。

[主な内容]

- (1) 建築物不燃化助成・・・建築助成、建築物除却助成、仮住居助成等
- (2) 羽田地区・・・不燃化促進調査

2 不燃化特区制度を活用した取組み

5,697 万 2 千円

東京都の「木密地域不燃化 10 年プロジェクト」の不燃化推進特定整備地区（不燃化特区）の指定を受けた地区において、不燃領域率 70%を目標に不燃化に向けた助成事業等を実施します。

[主な内容]

- (1) 対象地区・・・大森中地区（西糀谷・東蒲田・大森中）、
羽田二・三・六丁目地区、補助 29 号線沿道地区
- (2) 助成内容・・・戸建て・共同建替え助成、老朽建築物除却助成等
（対象地区において、助成内容が異なります。）

| | | | |
|-----|-------|----------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | まちづくり推進部 | 都市開発課 |
| | 課長氏名 | 瀬戸 隆司 | 電話 5744-1455 |
| | 担当者氏名 | 有川 憲二 | 電話 5744-1338 |

池上駅及び池上本門寺周辺地区のまちづくり新規

予算額 1,874万6千円

副題：池上駅及び池上本門寺周辺地区のまちづくり構想案の策定

ポイント

池上駅及び池上本門寺周辺地区は、大田区都市計画マスタープランにおいて、糀谷駅・雑色駅周辺地区と並ぶ地域のまちづくり拠点として位置付けられています。この地区には、駅周辺での自動車と歩行者との交錯、自転車走行空間等の不足、観光資源の有効活用等の課題があります。

こうした課題解決のために、鉄道事業者や地元関係者と協力して、池上駅及び池上本門寺周辺地区のまちづくり構想案を策定し、まちの魅力と機能向上を図っていきます。

事業概要

池上駅及び池上本門寺周辺地区を魅力あるまちとして更新することを目的とし、GIS等による現況の把握・分析、交通量の実態調査を行うとともに、駅前広場配置案や接続街路の交通処理方針等を検討したうえで、まちづくり構想案を策定します。



歩道が狭く、自動車と歩行者が交錯する駅前部分



線路南側の鉄道利用者が駅に行くためには踏切を渡る

| | | | |
|------|-------|----------------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | まちづくり推進部 都市開発課 | |
| | 課長氏名 | 保下 誠 | 電話 5744-1341 |
| | 担当者氏名 | 松島 愛一郎 | 電話 5744-1339 |

耐震診断・改修助成

新規

予算額 10 億 4,398 万 3 千円

副題：住宅・マンション等の耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進

ポイント

災害に強いまちづくりの実現に向け、多額の費用がかかるマンションの耐震化について、居住者の合意形成を支援するアドバイザー派遣制度の充実等、大規模地震に備えるための支援を一層強化していきます。

事業概要

1 分譲マンション耐震化アドバイザー派遣の充実 672 万 4 千円

分譲マンションの耐震化に向けた区分所有者間の合意形成を支援する現行の耐震化アドバイザー派遣制度について、マンションの現地調査により、建物や設備の劣化状況などの安全性に関して実態に則した総合的なアドバイスを行う制度に拡充します。

また、非木造建築物の耐震化の相談や、建物の調査を行う耐震コンサルタントの派遣も引き続き行います。

2 耐震シェルター・ベッド設置費助成の拡大 200 万円

家全体の耐震改修工事を行うことが困難な高齢者等の生命を守るため、耐震シェルター・ベッドの設置に係る費用の一部を助成しています。

これまで助成要件を「対象世帯全体の課税所得が 200 万円以下」としてきましたが、より広く国民の生命を守るという観点から、新たに所得 200 万円を超える全ての高齢者等の世帯を対象とした助成枠を新設します。

【阪神・淡路大震災相当の地震波による振動実験】

※独立行政法人防災科学技術研究所による実験



【耐震シェルター付き家屋倒壊実験】

※民間事業者による実験



家屋が倒壊しても耐震シェルターは壊れずに残ります。

3 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成 7億4,033万9千円

東京都耐震化推進条例に基づき、大規模地震時の建物倒壊による道路の閉塞を防止するため、特定緊急輸送道路沿道建築物に対する耐震化助成を引き続き行います。

- (1) 耐震診断助成 助成対象費用の 5/6 ～ 10/10
(診断費用 500 万円の場合 助成額 500 万円)
- (2) 耐震改修設計助成 助成対象費用の 1/3+200 万円 ～ 5/6
(設計費用 600 万円の場合 助成額 400 万円)
- (3) 耐震改修工事助成 助成対象費用の 1/6 ～ 5/6
(工事費用 6,000 万円の場合 助成額 4,000 万円)

※助成額については他にも条件がありますので、詳細はお問い合わせください。

4 住宅・建築物の耐震化助成 2億9,492万円

住宅、マンション及びその他の建築物に対する耐震化助成を引き続き行います。

助成限度額

- (1) 耐震診断助成：木造住宅 10～14 万円、分譲マンション 300 万円
- (2) 耐震改修設計助成：木造住宅 15 万円、分譲マンション 300 万円
- (3) 耐震改修工事助成：木造住宅 150 万円、分譲マンション 3,000 万円

| | | | |
|------|-------|----------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | まちづくり推進部 | 都市開発課 |
| | 課長氏名 | 瀬戸 隆司 | 電話 5744-1455 |
| | 担当者氏名 | 倉 一郎 | 電話 5744-1349 |

住宅市街地総合整備事業の推進

予算額 5,830万4千円

副題：災害に強いまちづくりを目指し羽田地区重点整備路線等の整備を促進！

ポイント

東京都防災都市づくり推進計画に定める整備地域等を含む区内の木造住宅密集地域において、道路・公園等の公共施設の整備及び老朽建築物の建替えを促進し、市街地の防災性及び居住環境の向上を図ります。

事業概要

1 羽田地区防災まちづくり 5,042万9千円

東京都の防災都市づくり推進計画で指定された整備地域を含む羽田1～6丁目地区内で、災害に強いまちづくりを進めるため、住宅市街地総合整備事業を活用し、整備計画で位置付けた道路の拡幅整備等を推進します。

また、町会役員等地域の代表者等で構成され、災害に強いまちづくりを目指す「羽田の防災まちづくりの会」の活動を支援するとともに、地域住民に対し事業の周知等を図っていきます。

[主な内容]

- (1) 重点整備路線整備
測量・調査等委託
(土地鑑定、用地測量、建物補償、土壌汚染調査)
- (2) 不燃化に寄与する公園の再整備に向けた検討委託
- (3) 防災まちづくり推進支援委託
- (4) 防災まちづくりニュースによる広報活動



住宅地のイメージ

2 建設資金融資利子補給 787万5千円

平成2～13年度にかけて西蒲田・蒲田、大森・北糀谷、蒲田2・3丁目、矢口・下丸子の各地区で行った老朽建築物の建替えのうち、建設資金の一部融資あっせんを行った分を対象に、最長20年間の利子補給を行っています。

予定件数等 25件、18棟

| | | | |
|-----|-------|------------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | まちづくり推進部 | 都市開発課 |
| | 課長氏名 | 瀬戸 隆司 | 電話 5744-1455 |
| | 担当者氏名 | 宮本 知明・鈴木 誠 | 電話 5744-1338 |

空家相談体制の整備

新規

予算額 336万円

副題：空家総合相談窓口を開設します

ポイント

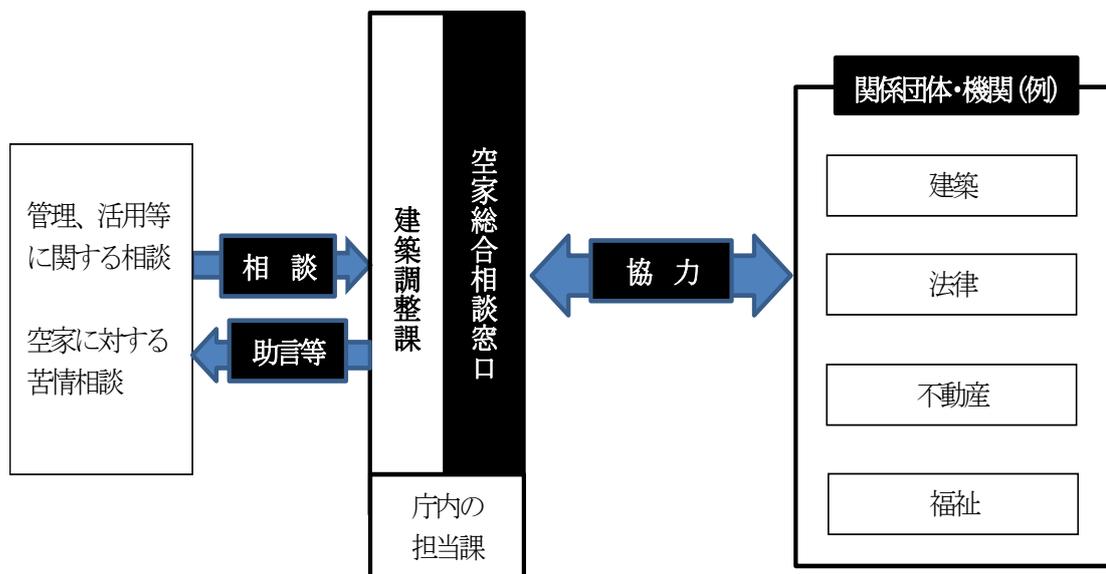
適切な管理が行われていない空家等が、防災、衛生面等で区民の生活環境に影響を及ぼしており社会問題化しています。また、所有者や区民から空家の管理等に関する様々な相談が寄せられています。

そのため、ワンストップで対応できる相談体制を整備し、空家等の適切な管理と利活用を推進して、良好な住環境の促進を図ります。

事業概要

区民からの相談内容に応じて、庁内の連携と関係団体・機関との協力関係により、ワンストップで対応できる相談体制を整備し、空家総合相談窓口を開設します。

【イメージ図】



| | | | |
|------|-------|----------------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | まちづくり推進部 建築調整課 | |
| | 課長氏名 | 吉川 紀代司 | 電話 5744-1381 |
| | 担当者氏名 | 栗飯原 勉 | 電話 5744-1301 |
| | | 菱沼 研一郎 | |

空家等地域貢献活用事業に係る区助成制度の創設 新規

予算額 400 万円

副題：公益目的で活用する空家改修の初期整備費用を助成します

ポイント

良質な民間の空家を公益目的で活用するため、平成 26 年 12 月から空家の所有者と利用希望者のマッチング（橋渡し）を行う「大田区空き家等地域貢献活用事業」を開始していますが、古い建物が多いため、空家の活用にあたり改修費の負担が課題となっています。

このため、空家改修費用の一部を助成することにより、空家活用の積極的な推進を図ります。

事業概要

「大田区空き家等地域貢献活用事業」に登録され、マッチングが成立した空家を改修するための費用の一部を助成します。

1 助成要件

- ・大田区空き家等地域貢献活用事業への登録者
- ・空家等を公益目的で活用し、事業を 10 年以上継続する者。

2 助成対象

空家を活用した地域貢献事業を行うために必要な住宅の改修

3 助成額

- ・助成対象費用の 2/3
- ・助成限度額 200 万円

4 活用例

- ・生涯学習支援施設
- ・高齢者・障がい者・子育て等福祉施設
- ・地域コミュニティ形成の場（集会室等）



改修前（保育室活用イメージ）



改修後（ウッドデッキ取付）

| | | | | |
|-----|-------|----------------|----|-----------|
| 問合先 | 担当部課 | まちづくり推進部 建築調整課 | | |
| | 課長氏名 | 青木 文 | 電話 | 5744-1342 |
| | 担当者氏名 | 菱田 金之助 | 電話 | 5744-1343 |

公園の整備

予算額 13億8,818万6千円

副題：魅力的な緑のやすらぎ空間づくりを進めます

ポイント

緑のやすらぎ空間である公園において、誰もが身近に利用できるとともに、様々な活用ができる場所としての整備を進めます。

また、新たなみどりの拠点となる公園の整備や、区民ニーズの変化に対応し、全ての人にとって利用しやすい魅力ある公園整備に取り組み、緑の機能拡充を図って行きます。

事業概要

1 地域に根ざした公園・緑地の整備

(1) 新井宿児童公園 改良工事

○障がい者支援施設「さぼーとびあ」の新設や大森医師会館の改築に合わせ、これら施設の利用者・高齢者の健康増進や憩いの場となるよう改修整備を進め、地域住民にとって快適で魅力ある、バリアフリーや地域の安心・安全などに配慮した公園とします。(工事)

(2) 水神公園 休憩所新築工事

○南雪谷で古くから「水神の森」と呼ばれてきた場所に、地域のシンボルとなる、既存建物の景観を生かした公園休憩所の整備を進めます。静かな文化活動利用を目的に、高齢者・子供連れの母親など、いろいろな年代の方が静かに公園の緑を楽しむ場所として整備します。(設計・工事)



【新井宿児童公園：完成イメージ】



【水神公園：工事予定地】

(3) 池上梅園 休憩所等新築工事

○区内有数の観光地である池上梅園の老朽化した建物を、事務室及び新たにイベント等で利用できる休憩所として新築します。(工事)



【池上梅園：観梅期】

(4) 東糀谷第一公園 改良工事

○都市計画道路補助 38 号線に接している東糀谷第一公園について、都市計画道路の拡幅に伴う公園のセットバックおよび改修（トイレ、出入口等）を行います。

28 年度は既存擁壁撤去・擁壁新設等のセットバック工事を行います。(工事)



【東糀谷第一公園：工事予定地】



【東糀谷第一公園：工事予定地】

2 拠点公園の整備

(1) 洗足池公園 洗足池図書館周辺整備工事、勝海舟墓所周辺設計委託

○洗足池公園内の洗足池図書館周辺の整備工事を行います。洗足池図書館の背面には、隣接する妙福寺内の名所「日蓮上人の袈裟懸の松」への連絡路があり、一帯を図書館も取り込んだ「袈裟懸の松庭園」として整備します。また、洗足池公園内の勝海舟の墓所周辺の再整備について設計を行います。(設計・工事)



【洗足池公園：洗足池図書館】



【洗足池公園：勝海舟墓所】

(2) 佐伯山緑地 用地購入・擁壁造成工事

○中央五丁目 30 番の佐伯栄養専門学校の敷地であった土地を、都市公園法上の都市緑地として整備します。28 年度は用地購入および、既存がけ地についての造成工事(擁壁)その 1 を行います。(購入・工事)



【佐伯山緑地】

(3) 鶉の木松山公園 増設工事

○鶉の木松山公園の隣地について増設工事を行います。既存公園の特色を生かし、自然環境に親しむ場としての緑地空間として整備します。(工事)



【鶉の木松山公園 : 工事予定地】



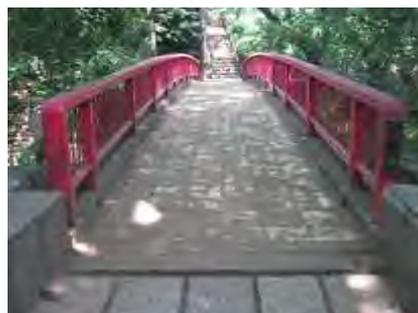
【鶉の木松山公園 : 完成イメージ図】

(4)多摩川台公園 バリアフリー改修工事・設計委託、増設工事・虹橋改修工事設計委託

○平成 26 年度に公園内の移動円滑化について実地調査し、その結果を基に公園内のバリアフリー化について計画的に進めることしました。平成 28 年度はあじさい園・水生植物園周辺の改良工事、虹橋周辺の設計を行います。また、多摩堤通りに面した隣地について増設工事を行います。虹橋は、多摩川台公園の中心を走る区道上に架かる園内人道橋ですが、架橋から約 60 年経過しているため、補修設計を行います。(設計・工事)



【多摩川台公園 : 増設予定地】



【多摩川台公園 : 虹橋】

| | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 問合先 | 担当課 | | |
| | (上記 1・2) | 都市基盤整備部 | 建設工事課 |
| | (上記 2) | 都市基盤整備部 | 都市基盤管理課 |
| 課長氏名 | | | |
| (上記 1・2) | 石井 一雄 | 電話 | 6436-8720 |
| (上記 2) | 明立 周二 | 電話 | 5744-1689 |
| 担当者氏名 | | | |
| (上記 1・2) | 森下 太郎 | 電話 | 6436-8726 |
| | 吉川 貴晃 | | |
| (上記 2) | 大橋 英一 | 電話 | 5744-1304 |

公園実態調査事業 **新規**

予算額 1,194 万円

副題：さらに親しまれ愛される公園づくりを目指して

ポイント

これまで区民の憩いの場として 561 箇所の公園を確保して来ましたが、少子高齢化等による利用状況の変化への対応や、施設の老朽化等が課題となっています。

そうした中で、公園に対する区民のニーズは、「量」だけでなく、より魅力がアップし、区民が更に利活用出来る「質」の高い公園が求められています。

事業概要

区内には大小様々な公園がありますが、区民のニーズの変化等によってあまり利用されていなかったり、老朽化が進んでいる公園もあります。そこで、まず公園の利用実態を調査・把握することで、更に多くの区民に利用され、活用される魅力あふれる公園にするための調査を行います。

区内全域の公園を規模別で調査し、公園の利用実態を把握します。調査結果を基に、様々なご意見等を取り入れ、公園の抱える問題や課題を検討する基礎資料とします。



【蒲田一丁目公園：老朽化した施設例】



【西蒲田五丁目第二児童公園：狭小な公園】

| | | | |
|------|-------|---------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 | 都市基盤管理課 |
| | 課長氏名 | 明立 周二 | 電話 5744-1689 |
| | 担当者氏名 | 大橋 英一 | 電話 5744-1304 |

円滑で安全・安心な道路づくり

予算額 6,095万6千円

副題：道路陥没を未然に防ぎ、安全・安心なまちづくりをすすめます！

ポイント

区道の道路幅員の狭い生活道路の道路陥没を防ぐため、小型空洞探査車(2t 車ベース)を用いて調査を行い、安全・安心な道路づくりを推進します。また、調査結果において緊急を要する空洞箇所への対処として調査補修工事を速やかに行い、陥没を未然に防ぎます。

事業概要

1 路面下空洞調査委託

区道総延長約 770km のうち、平成 24 年度と平成 25 年度で合わせて約 220km(道路障害物除去路線、主要路線)の路面下空洞調査を終えました。調査未実施である道路幅員の狭い生活道路約 550km を対象に、近年開発された小型空洞探査車を用いた調査を行います。平成 27 年度は、路線延長 20km の試験調査を行っており、小型空洞探査車の性能や精度等を確認し、事業の推進をしております。

平成 28 年度は「路面下空洞調査委託」調査路線延長 約 150km を予定しています。

2 路面下調査箇所補修工事

平成 28 年度に実施する路面下空洞調査の結果に伴い、緊急を要する空洞箇所については、速やかに調査補修工事を行います。



【平成 25 年度 調査実施箇所の調査補修状況】



【平成 27 年度 小型探査車調査実施状況】

| | | | |
|-----|-------|---------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 | 都市基盤管理課 |
| | 課長氏名 | 明立 周二 | 電話 5744-1689 |
| | 担当者氏名 | 神谷 文雄 | 電話 5744-1304 |

自転車走行環境の整備

予算額 9,899 万円

副題：自転車による交通事故の減少を図ります

ポイント

区内の交通事故において、自転車に関与する事故は40%を超える状況が続いています。自転車利用のルールやマナーの啓発活動とともに、車道に自転車の走行環境を整備することで、歩行者や自動車も含めた安全・安心な移動環境を造ります。



(写真は、池上駅周辺における整備事例)

事業概要

自転車は、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者である場合や、「普通自転車歩道通行可」の標識がある場合などを除き、車道を走行することが原則となります。自転車の車道における走行環境を整備することにより自転車利用者の安全・安心な移動を実現するとともに、歩行者や自動車運転者の方にも自転車が走行する場所を認識してもらい、交通事故の発生を防ぎます。

| | | | |
|------|-------|---------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 | 都市基盤管理課 |
| | 課長氏名 | 明立 周二 | 電話 5744-1689 |
| | 担当者氏名 | 中野 朝久 | 電話 5744-1315 |

橋梁の耐震整備及び長寿命化修繕

予算額 11億8,422万5千円

副題：災害に強く、安全・安心な橋梁を構築します

ポイント

区が管理する橋梁の中で、災害時の輸送路の要となる緊急道路障害物除去路線や鉄道を跨ぐ橋梁等、防災上重要となる橋梁について、計画的に架替や耐震補強整備を行い災害に強いまちづくりを推進します。

また、既設橋梁の良好な状態を維持していくため、健全度を維持しながら長寿命化を図る予防保全型の維持管理を導入し、道路交通の安全性を確保すると共にライフサイクルコストの縮減を図っていきます。

事業概要

平成26年度に改定した耐震補強計画及び長寿命化修繕計画に基づき、橋梁整備を推進します。

平成27年度は、耐震補強4橋（東橋、北糞谷橋、外川田跨線人道橋、宮前跨線人道橋）の工事を完了し、平成28年度は引き続き未整備橋梁23橋に着手します。



宮前跨線人道橋（平成27年度完了）



北糞谷橋（平成27年度完了）

1 橋梁の架替整備：1橋

老朽化の進展等に伴う橋梁の架替整備を実施し、この更新に合わせて所要の耐震性能を確保させていきます。

① 詳細設計委託：1橋

・諏訪橋（大森西 2-25～3-4、昭和4年供用、橋長12.7m）

2 橋梁の耐震補強整備：15橋

大規模地震の際に、橋梁の損傷を限定的なものにとどめることで、速やかに機能回復が行える

橋梁を目指し耐震補強整備を行っていきます。

① 耐震補強工事：7 橋

- ・本村橋（仲池上 1-32～久が原 1-3、昭和 44 年供用、橋長 10.2m）
- ・山王道跨線人道橋（山王 1-1～南大井 6-14、昭和 40 年供用、橋長 25.4m）
- ・西三跨線人道橋（中馬込 3-8～西馬込 1-25、昭和 39 年供用、橋長 24.7m）
- ・第二中谷跨線人道橋（上池台 5-30～仲池上 1-2、昭和 38 年供用、橋長 25.1m）
- ・富士見橋（上池台 5-28～仲池上 1-1、昭和 39 年供用、橋長 21.1m）
- ・北千束歩道橋（北千束 2-48～50、平成 8 年供用、橋長 12.6m）
- ・道々女木橋（南馬込 6-31～36、昭和 44 年供用、橋長 119.8m）

② 耐震補強・補修設計委託：8 橋

- ・蟹久保橋（北嶺町 28～東嶺町 3、昭和 39 年供用、橋長 20.7m）
- ・嶺橋（北嶺町 29～東嶺町 4、昭和 39 年供用、橋長 20.6m）
- ・老松橋（北嶺町 30～東嶺町 5、昭和 39 年供用、橋長 20.6m）
- ・入船橋（北嶺町 31～東嶺町 6、昭和 39 年供用、橋長 20.7m）
- ・御嶽橋（北嶺町 32～東嶺町 45、昭和 39 年供用、橋長 20.9m）
- ・芹が谷橋（仲池上 1-33～久が原 1-2、昭和 45 年供用、橋長 10.4m）
- ・根方橋（仲池上 2-27～久が原 2-13、昭和 43 年供用、橋長 12.4m）
- ・天空橋（羽田 5-14～羽田空港 1-1、平成 5 年供用、橋長 73.9m）

③ 測量調査委託：1 橋

- ・山王道跨線人道橋（山王 1-1～南大井 6-14、昭和 40 年供用、橋長 25.4m）

3 橋梁の長寿命化修繕：7 橋

老朽化等に伴い進展する損傷に対して適切な維持修繕を行い、既設橋梁を良好な状態に保っていきます。

① 補修工事：5 橋

- ・谷中橋（東雪谷 5-33～南雪谷 5-16、昭和 51 年供用、橋長 10.0m）
- ・八幡橋（仲池上 2-25～久が原 2-3、昭和 35 年供用、橋長 13.0m）
- ・久崎橋（池上 2-7～3-2、昭和 41 年供用、橋長 12.2m）
- ・柳橋（石川町 2-28～1-8、昭和 51 年供用、橋長 13.7m）
- ・平和島陸橋（北側）（平和島 4-2～3-1、昭和 42 年供用、橋長 320.7m）

② 補修詳細設計委託：2 橋

- ・呑川橋（大森東 4-40～大森南 1-6、昭和 32 年供用、橋長 10.8m）
- ・新橋（大森東 1-19～2-33、昭和 33 年橋梁、橋長 20.1m）

| | | | |
|------|-------|---------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 | 建設工事課 |
| | 課長氏名 | 遠藤 彰 | 電話 6436-8721 |
| | 担当者氏名 | 齊藤 武司 | 電話 6436-8725 |

道路の無電柱化

予算額 4,968万8千円

副題：電柱・電線を無くし、きれいな街並みと災害に強い道路を構築！

ポイント

都市防災機能強化、良好な都市景観創出および安全で快適な歩行空間確保のため、道路上の電線類を地中化し電柱を無くす整備を進めます。

事業概要

1 羽田地区バス通りの無電柱化

羽田の防災まちづくりの整備計画において、産業道路から弁天橋までの羽田バス通りは、市街地から避難場所である空港跡地に接続する主要防災道路として位置付けられ、空港に隣接した区の玄関口としても重要な道路です。そのため、災害時の安全性を確保し、空港跡地との連続性のあるまちなみを整備するため、当該道路の無電柱化を行います。

当該道路の歩道部分は、狭いことからその整備が難しいという課題があります。

平成28年度は、平成27年度に実施した電柱・電線を撤去するための方式検討の成果を活かし設計を行います。



2 大森北周辺地区沢田通りの無電柱化

都市計画道路（補助線街路第27号線）大田区大森北三丁目1番から五丁目10番までの本路線は、「第二期電線類地中化計画(H3～6)」以降、電線類地中化の整備個所として位置付けられています。大森地区の防災機能強化、都市景観の向上のための無電柱化事業を推進していくため、電線共同溝および歩車道改修の整備を行っていきます。

この整備を行っていく中で、車道の劣化の改善や歩道空間のバリアフリー化も併せて行います。また、平成25年3月策定の「大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」に基づき自転車走行空間の整備も行っていきます。

本整備を進めていくため、平成28年度は測量・基本設計を行います。



| | | | | |
|-----|-------|---------------|----|-----------|
| 問合先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 建設工事課 | | |
| | 課長氏名 | 石井 一雄 | 電話 | 6436-8720 |
| | 担当者氏名 | 中山 岳人 | 電話 | 6436-8728 |

移動等円滑化の推進

予算額 1,501万6千円

副題：さぼーとぴあと公共交通の接続を中心とした移動等円滑化を推進！

ポイント

「障がい者総合サポートセンター（さぼーとぴあ）」を中心とした、バリアフリー基本構想を策定します。

大森駅を中心としたエリアの移動等円滑化を一層推進するため、駅東口の既存上りエスカレーターの見直し及び下りエスカレーターの設置に向けた、設計業務を実施します。

事業概要

大森駅を中心としたエリアの移動等円滑化をより一層推進するため、駅及びさぼーとぴあ周辺において、更なる事業を実施します。

大田区では、バリアフリー法に基づく基本構想である「大田区移動等円滑化推進計画（大森駅周辺地区）」を平成25年3月に策定し、大森駅周辺地区の移動等円滑化を推進してきました。

1 大田区移動等円滑化推進計画（さぼーとぴあ周辺地区）策定

「おおた未来プラン10年」で定めたユニバーサル環境の充実に図るため、公共公益施設が集積する「障がい者総合サポートセンター（さぼーとぴあ）」周辺地区を蒲田駅及び大森駅周辺地区に続く新たな重点整備地区として指定し、移動等円滑化推進計画を策定します。通常は駅周辺で策定されるものですが、当計画は駅から離れた地域まで拡大して地区指定している点が先進的です。



さぼーとぴあ



施設点検イメージ

2 大森駅東口エスカレーター設計業務委託

大森駅東口の既存上りエスカレーターは、昭和 59 年の設置から 30 年が経過し、早急な更新が不可欠となっています。また、現在は下りエスカレーターは設置されておらず、上下移動の移動円滑化の実現は大きな課題となっています。

大森駅東口のバリアフリーの充実を図るため、東口側上りエスカレーターの取替え及び下りエスカレーターの設置に向けた、基本設計を行います。



大森駅東口



大森駅東口側上りエスカレーター

| | | | | |
|------|-------|--------|----------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | (上記 1) | まちづくり推進部 | まちづくり管理課 |
| | | (上記 2) | 都市基盤整備部 | 建設工事課 |
| | 課長氏名 | (上記 1) | 西山 正人 | 電話 5744-1331 |
| | | (上記 2) | 遠藤 彰 | 電話 6436-8721 |
| | 担当者氏名 | (上記 1) | 渡部 正美 | 電話 5744-1332 |
| | | (上記 2) | 瀬戸 程行 | 電話 6436-8727 |

大岡山駅周辺地区の整備

予算額 6億6,703万3千円

副題：東急目黒線蓋掛区間の工事に着手！

ポイント

東急目黒線の蓋掛工事が完了し、大田区画街路第1号線は早期完成が求められています。「人と緑と文化の調和するまち・大岡山」を目指し、区民の日常生活を支える道路の早期完成を目指します。

事業概要

1 環状七号線交差点部改良工事

大岡山駅と環状七号線を結ぶ大田区画街路第1号線において、東急目黒線の蓋掛工事が完了し、続いて電線共同溝を整備するための、地下埋設物の移設工事も完了しました。街路の本整備に向け、第一段階として環状七号線との交差点部の改良工事を行います。

2 清水窪跨線橋付近交差点部改良工事

東急目黒線蓋掛区間以外の箇所においても早期完成を目指し、用地取得が完了した箇所において、小学校の通学路でもある清水窪跨線橋付近交差点の安全対策も含めた改良工事を行います。

3 用地取得費等

早期完成実現に向けて、引き続き事業用地の取得を行います。



| | | | |
|------|-------|---------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 | 建設工事課 |
| | 課長氏名 | 石井 一雄 | 電話 6436-8720 |
| | 担当者氏名 | 中山 岳人 | 電話 6436-8728 |

都市計画道路の整備

予算額 8億8,089万6千円

副題：補助線街路の一部区間が完成。さらなる整備を進めます

ポイント

大田区施行で事業中の都市計画道路について、用地買収・設計・工事等を着実に
行い、安全で安心なまちと円滑に移動できる都市の実現に向けて事業を推進します。

事業概要

大田区施行で事業中の都市計画道路(補助幹線道路)は、日常生活に密接な係わりを
もつ道路です。現在、未整備区間において、住宅地に車が流入し、住環境の安全性や
快適性を妨げる要因となっています。

自動車の円滑な通行、歩行者の安全面や福祉、環境面への配慮など、効率性と安全
性、快適性を重視する道路の整備を行っていきます。

また、災害時における緊急避難路としての活用も考慮し道路の無電柱化も併せて整
備していきます。



(写真) 補助線街路第 44 号線 4 期事業中箇所

(1) 補助線街路第 38 号線

路線北側(東糞谷地区)の早期整備に向け、平成 28 年度は東糞谷六丁目交差点改良等
の設計についての検討を行います。

また、引き続き事業用地の取得を進めます。

(2) 補助線街路第 43 号線

東京都道路整備保全公社と用地補償総合技術業務委託の協定を結び、用地の早期取得促進を図ります。

(3) 補助線街路第 44 号線

平成 27 年度完成区間に隣接する箇所において、次期整備に向け電線共同溝の詳細設計を行います。

事業認可取得を目指す環状七号線取付部においては、測量・設計を行います。



(写真)補助線街路第 44 号線 2 期整備中箇所(平成 28 年 3 月完成予定)

| | | | |
|-----|-------|---------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 都市基盤整備部 | 建設工事課 |
| | 課長氏名 | 石井 一雄 | 電話 6436-8720 |
| | 担当者氏名 | 中山 岳人 | 電話 6436-8728 |